

## <巻頭エッセイ>

# グローバルコミュニケーション教育センター (CEGLOC) 開設初年度

センター長 浜 名 恵 美

平成 28 年 3 月

平成 27 年 4 月に開設されたグローバルコミュニケーション教育センター (CEGLOC) の使命は、以下のとおりである。

グローバルコミュニケーション教育センター (Center for Education of Global Communication、略称 CEGLOC) の理念は、日本人学生及び留学生がともに外国語を日本語を学ぶためのより充実した環境を提供し、本学のグローバル化を推進するとともに、コミュニケーション力の基礎となる質の高い実践的教育を提供することです。

本センターに期待されているグローバルコミュニケーション教育とは、「共通語としての英語」、「初修外国語」、「その他の現地語としての外国語」、「その他のコミュニケーションツール」を必要に応じて駆使して、世界のだれとでも、意思を通じ相互理解することができる能力を育むことです。

「共通語としての英語」の 4 技能の向上は、特に日本人学生にとって喫緊の課題です。「初修外国語」としては、外国語教育部門で開設している 7 言語（ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語、朝鮮語、アラビア語）と、留学生を対象として日本語教育部門で開設している「日本語」、合計 8 つの言語があります。これら以外の言語が現地で使用されている国・地域へ留学等で行く場合には、本学の関連組織等の助言や支援を得て「現地語としての外国語」（例、ベトナム語、ポルトガル語）を学ぶ必要があります。「その他のコミュニケーションツール」とは、勉強でも研究でも対面コミュニケーションが最も大事であることに変わりはありませんが、特に ICT によるさまざまなツールを駆使することができる力も必要になります。さらに、国語部門が、日本人学生の日本語運用能力を高めるために母語（国語）の教育を行います。母語による論理的思考力等を身につけることは、質の高い外国語能力を獲得するために不可欠です。

21 世紀の国際社会が求めているのは、質の高い実践的な外国語運用能力、世界の人々と交渉し、共に働き、共に創造するためのコミュニケーション力、グローバルに活躍できる力 (global competence) を身につけた人材です。

本センターの教育研究にかかわる教職員は、こうした能力を促進するための教育の改革を前向きに受け止め、学生のコミュニケーション力及び語学運用能力を高めることに使命感と喜びを感じています。私たちは、学生たちと生き生きと相互作用を行い

ながら、革新的な教材と指導法を開発することをめざしています。（出典：CEGLOCリーフレット）

グローバルコミュニケーション教育センター（CEGLOC）の開設初年度は、まず、企画調整部門、外国語教育部門、日本語教育部門、国語部門、教材開発・支援部門という5部門を設置した。平成27年6月19日にはCEGLOC開設記念シンポジウムとして「グローバルコミュニケーション教育センターの挑戦」を開催し、主に外国語教育部門、日本語教育部門、国語部門の連携の強化を図り、21世紀に必要な刷新的な語学教育および教材開発を模索した。本学のスーパーグローバル大学構想を支えるCEGLOCの開設初年度の目標は、ほぼ実現できたと思われる。財政的には厳しさが増すとはいえ、次年度以後の大いなる挑戦と発展に期待したい。